

南アフリカ共和国話題集

【国名】

- アフリカ大陸の南端に位置することに由来。

【国旗】

- 国旗はレインボーフラッグとも呼ばれる。赤は過去の対立の中で流された血、青は空と2つの海、緑は農業と自然、黄は金に代表される天然資源、黒は黒人の国民、白は白人の国民と平和を表現。



南アフリカ国旗

【国歌】

- 1997年にマンデラ大統領（当時）が民族和解・協調政策の一環として、アフリカ各国で歌われている賛美歌で黒人解放運動の象徴である「神よ、アフリカに祝福を」とアパルトヘイト時代の国歌「南アフリカの呼び声」の両曲をひとつに編曲した国歌を制定。前半がコサ語・ズールー語・ソト語、後半がアフリカーンスと英語で構成。

【国土】

- アフリカ大陸の最南端に位置する国。面積は日本の約 3.2 倍（約 122 万km²）。首都はプレトリア。人口は約 6,203 万人。



【ネルソン・マンデラ元大統領】

- マンデラ元大統領は、大学で法律を学んだ後、反アパルトヘイト運動の闘士として活躍。国家反逆罪で終身刑を言い渡され、1964年から1990年まで、政治犯や凶悪犯を収容する「ロベン島刑務所」などに収監されていた。
- マンデラ元大統領は服役中、政治犯として投獄された同志たちと、雑居房で英語などを教え合って士気を維持したと言われている。こうしたことは、「ロベン島大学」のエピソードとして語り継がれている。1999年にロベン島が、、2024年にマンデラ元大統領にゆかりのある14の遺産が、世界遺産に登録された。
- 1993年、マンデラ元大統領はデ・クラーク元大統領とともにノーベル平和賞を受賞。2012年12月5日肺感染症により逝去（享年95歳）。

【英国植民地からの独立、アパルトヘイト】

- 17 世紀半ばからオランダ、19 世紀前半からは英国の植民地となる。
- ケープ植民地政府首相を務めた英国人セシル・ジョン・ローズは、1880 年にデ・ビーズ鉱山会社を設立し、同社は 1891 年までに世界のダイヤモンド生産の 9 割を占めることとなった。
- 1910 年、南アフリカ連邦として独立したが、白人政権は黒人の政治的・社会的・経済的権利を剥奪するアパルトヘイト（人種隔離政策）を実施し、国際社会から厳しい非難を浴びた。国連では 1969 年にアパルトヘイト政策を非難する総会決議が採択され、各種安保理決議により武器等の禁輸や人的交流の禁止などの制裁措置が実施された。

【民主的政権の発足】

- 1990 年以降、デ・クラーク大統領（当時）の下でアパルトヘイト撤廃に向けた動きが進展し、1994 年 4 月に初の全人種参加による総選挙が行われた。その結果、アフリカ民族会議（ANC）総裁として反アパルトヘイト運動を主導したネルソン・マンデラを大統領とする民主政権が発足し、その国民和解路線の下で情勢は安定した。

【世界遺産】

- 南アは、2,000m級の山脈、砂漠と森林、高原と平野など多様な地形と気候を反映した動植物の宝庫でもある。自然や文化遺産も豊かであり、アウストラロピテクスなどの人類化石が発見された遺跡群及びロベン島などの文化遺産、その他自然遺産等、計 12 か所が世界遺産に登録されている。



ロベン島



ケープ植物保護地区内のカーステンボッシュ国立植物園（世界で唯一の世界遺産内の植物園）



ドラケンスバーグ公園
（自然・文化遺産）

【日系自動車メーカーの活動】

- トヨタ、日産、いすゞが南アに生産拠点を有しており、これら3社が生産する自動車は南アで生産される自動車の3分の1以上を占める。3社の直接の雇用者数は約1万人、間接的な雇用効果はその10倍以上と推定される。
- トヨタ自動車はアフリカで初となるハイブリッド車種の製造を含む工場拡張等のため2020年1月に総額43億ランド（約300億円）の投資を発表（2021年に新型ハイブリッド車生産を開始。）。日産はロスリン工場（ヨハネスブルグ北部）拡張のために、2019年4月に約210億円の投資を発表。いすゞ自動車も新型車種製造のため12億ランド（約80億円）の投資を発表（2022年に新型車生産を開始。）。その他、自動車メーカー3社はCSRにも熱心に取り組んでおり、例えば、コロナ対策として、医療機関の改修、検査機器・PPE等の寄付、貧困

地区への食料や物品の寄付や配送等を行っていた。

【東日本大震災】

- 2011 年 3 月に発生した東日本大震災の際に南アフリカ政府は、人道支援を行う NGO 「レスキュー・サウスアフリカ（RSA）」を派遣した。RSA は宮城県で 9 日間、人命救助や捜索活動にあたり、警察など地元関係者から高い評価を受けたと共に、地元住民との友情は今でも続いている。



【スポーツ】

- ラグビーは、南アで最も盛んなスポーツの一つであり、実力は世界のトップクラスで競技人口はイギリスに次いで世界最多（55万人（World Rugby Year in Review 2021 より））。南アのナショナル・チーム「スプリングボックス」は、1994年の民主化以降、国際大会に復帰し、1995年のW杯に開催国として初参加し、劇的な初優勝を果たした。
- 2007年10月に開催されたフランス大会ではイングランドを破り2度目の優勝を果たした。2015年9月のイングランド大会では、日本代表が優勝候補の南ア代表に34対32で逆転勝利し、「ブライトンの奇跡」として話題となった。
- 2019年9月の日本大会では南アで初めての黒人主将となるシャ・コリシ選手がチームを率い、イングランドを破り3度目の優勝を果たした。2023年パリ大会でも優勝。

- サッカーも非常に人気の高いスポーツで、2010年6月にはアフリカ大陸で初となるサッカーW杯が南アフリカで開催。W杯南ア大会での日本チームの活躍ぶりは、南ア国民の間で広く知られている。東京2020オリンピックではサッカー男子予選リーグで日本と南アが対戦し、1-0で日本が南アを制した。

【南アフリカ料理】

- 多民族国家であるため、世界各国の料理が味わえる。一般的な食事は英米風で、休日には「ブライ」と呼ばれるバーベキューを楽しむ。野菜や豆を入れた煮込み料理が伝統的な家庭料理。ワニ、インパラ、ダチョウなどの猟鳥獣料理もある。

【南アフリカワイン】

- ぶどう栽培に適した地中海性気候と肥沃な土地に恵まれたケープタウンとその周辺では、17 世紀半ばからワインづくりが行われてきた。南アワイン産業統計によれば、2022 年時点で、南アのワイン生産量は全世界の約 4.0%を占め、世界第 8 位。2022 年のワイン生産量は 107 万キロリットルで、その品質は世界的に認められてきており、日本への輸入も増えている。

【映画】

- 2004 年、南ア出身の女優シャーリーズ・セロンがアカデミー賞主演女優賞を受賞。主演作品は「モンスター」。なお、2008 年 11 月、同人は国連の人権や平和活動をアピールする平和大使に任命された。
- 南アフリカを舞台とした映画としては、地球に一時滞在するエイリアンと人類の対立を描き、アパルトヘイト政策を風刺した SF 映画「第 9 地区 (District 9)」(2009 年)、マンデラ元大統領と同国ラグビーチームの主将が W 杯制覇と国民融和に向けて奮闘する姿を描いた「インビクタス (Invictus)」(2009 年)、マンデラ元大統領の生涯を描いた「マンデラ 自由への長い道 (Long Walk to Freedom)」(2013 年)、実話を元に、アパルトヘイト政策に抵抗し投獄された白人囚人の脱獄を描いた「プリズン・エスケープ (Escape from Pretoria)」(2020 年) 等も有名。

【南ア出身の著名人】

●イーロン・マスク

プレトリア出身の実業家。電気自動車会社の Tesla 社、宇宙船の開発等を行う SpaceX 社、トンネル採掘会社の The Boring Company 社、脳と人工デバイスを接続する技術開発を行う Neuralink 社など、先進的な事業を次々と立ち上げている。SpaceX 社の宇宙船は、2020 年 5 月に民間宇宙船として初の有人飛行に成功し、同年 11 月、日本人の野口聡一宇宙飛行士を乗せて 2 度目の打ち上げに成功した。また、マスク氏は、2011 年、東日本大震災の被災地である福島県相馬市に太陽光発電システムを寄贈した。

● アブドゥーラ・イブラヒム

南アを代表するジャズピアニスト。ケープタウンの貧しい家庭に生まれ、強制立ち退きの対象となったディストリクト・シックス地区で育ち、70年間にわたり1,000回以上、日本等世界中で演奏活動を行っている。独特な「ケープジャズ」というジャンルを生み出す。日本の武道や禅の精神性に憧憬を抱き、音楽活動を通じて世界中で日本の伝統文化及び精神文化を発信した功績から、令和2年春の外国人叙勲を授章。

● ヨハン・ボータ

北西州出身のテノール歌手。幅広いレパートリーを持ち且つ難役を歌いこなすことで名声を得、ウィーン国立歌劇場を中心に世界中で活躍した。公演のために複数回の来日歴があり、東日本大震災発災から6ヶ月後にも代役を引き受けて来日公演を行い、日本人を勇気づけた。2016年に逝去。

● プリティ・イエンデ

ムプマランガ州出身のソプラノ歌手。Hans Gabor Belvedere Singing Competition（若手歌手を対象とした国際歌唱コンクール）において史上初となる全部門での1位獲得を果たす。2010年のデビュー以来、スカラ座（イタリア）、メトロポリタンオペラ（米国）、ロイヤルオペラハウス（英国）等、世界の名だたる歌劇場で活躍している。

- ほかに、南ア生まれの有名人として、作家のJ.R.R トールキン（ブルームフォンテイン生まれ。映画『ロード・オブ・ザ・リング』の原作『指輪物語』の作者）がいる。